

Aグループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	医療福祉	1市3町の医療福祉の連携	小児科医の無償は継続
2		少子高齢化	
3		要介護者の増加(認知症含む)	
4		先端医療情報→少ない	疾病、健康情報→まとめツール
5		現市立病院での建て替えは土地が狭い	県との話し合いで土地拡大
6		県と市の話が進んでいない→大問題	
7		疾患別のセンターを置く	JT跡地の活用
8		県西地区全体で医療構想を構築	
9		日頃の医療を大切に	
10		現市立病院の立地が悪い(踏切等)	
11			様々な業種と繋がる
12			福祉施設だと一部の法人→未病検診センター
13	子育て教育	貧困問題→深刻	
14		子ども食堂の増加	公立小中学校の活用
15		子ども食堂→本当に必要名人は表に出てこない	みんなの食堂→イメージを変える
16		親への意識付けをどうするか？	誰でも参加できるようにする
17		子供会加入率の低下(自治会が把握できない)	地域と連携した子育て支援→高齢者の活用
18		ヤングケアラーが多い	課題のある家庭と地域がつながりアウトリーチできないか
19			平塚市(福祉村)、茅ヶ崎市(包括支援センター)
20		虐待防止策が必要	
21		里帰り出産を奨励してはどうか？	
22		防災対策→1人で過ごす子が多い	学校や各家庭で自助の話を
23		保育所不足ファミリーサポート不足	保育経験のある市民をバンク化しては？
24		保育コンシェルジュの存在が知られていない	もっとアピールしては？

B グループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	医療福祉	専門病院が何処にあるか分からない	診療科ごとのマップを作る
2		市立病院は主に急病、急患の受け入れ	先ずは地域の病院に行く
3		渋滞→駐車場問題	
4		企業向け人間ドック	
5		医療以外で最新のシステム	フジフィルム
6		県西地区での医師不足→医師が集められるか	
7		市立病院は駅から徒歩圏内が理想	
8		最新医療や研究が出来る病院へ	研究に来る医師にも魅力が出る
9		医療福祉 & 介護制度を知らない人が多過ぎる	
10		外国人の医療ツアー	
11		身寄りのない人の医療	
12		市立病院立て替えに関する情報が不十分	市民に意見を求める窓口を設置
13		安心して産める産婦人科が必要	産婦人科を増やす
14		土日診療してくれる産婦人科がない	
15		若年層は医療費の負担を少なくする	
16			
17	教育	小中学生の遊び場が少ない	学校開放
18		大学との連携	
19		スマホだけでなく本を読む習慣を付ける	
20		外国語教育(観光)	
21		プリントが多過ぎる	メールやHPの活用
22		多人数での授業は難しいのでは	小人数制→フィンランド教育
23		スポーツ→健康→教育	

C グループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	医療福祉	病院内にwifiを設備	
2		院内のコンセント使用 50円/1日はダメ	
3		交通の便が悪い→足柄駅から遠い	大学病院の誘致
4		名医の確保	定年制の廃止
5			JT跡地、関東学院大学跡地の有効活用
6			
7	教育子育て	いじめ、虐待、高齢者引きこもり	二宮尊徳の教えを普及
8		PTA組織と保護者の距離	
9		PTAの役割 学校のためor子供のため	
10		大人の品格道徳心の欠如	
11		通学路の見直し(老朽化した歩道橋等)	
12		中高で有名私立への受験が多い 将来戻って来ない	他地域からの受験、または進学校を誘致

Dグループ				
No.	テーマ	カテゴリ	課題	解決策
1	市立病院と 地域医療			市長を変えろ
2				新しいトップ 病院経営者
3				外の世界を知る
4				告知力(啓蒙)
5				役人だけに考えさせない体制
6				外交力をやしなう 外の世界を知ろう
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				

54		キッズスペースがほしい！（6才）	
55			快適・楽しい病院がほしい！癒される空間づくり
56		びよいんをたこかがとをふたりにして	
57		市立hosp. の保育園を活用して欲しい	
58		レストランを現代的に	
59		レスパイトがない レスパイト医療の重要性	
60		カフェが欲しい	
61		理容室の活用	
62		一生懸命やっているのに市の対応がそれかよ！	
63	居場所・環境	街なかに子供が遊べる公園がない	
64	居場所・環境	子供が自転車をこげる道がない（安心）	
65	居場所・環境	原体験大切 海岸/森/川でめいっぱい遊ぶ	
66	居場所・環境	外遊び キャッチボール、自転車、ケンケン、縄跳びが出来る環境	
67	居場所・環境	子供の外あそびが出来る空間がない。	
68	居場所・環境	子供（個人個人）の特性を生かす。	
69	居場所・環境	なんでも市民力というのはあきた	
70	居場所・環境	多世代交流したい	
71	居場所・環境	居場所がない（ちかく となり）の人がなにしているかわからない生活がづらい	
72	居場所・環境	多世代の交流場所がない	
73	居場所・環境	ボランティアに依存しすぎ	
74	居場所・環境	市民力に頼りすぎるな	
75	居場所・環境	児童館がない！	
76	居場所・環境	民間の学童がないので育休中に困った	
77	居場所・環境	ファミサポ担い手不足	
78	居場所・環境	子供会がなくなっていくので、その代わりに考えよう	
79	居場所・環境	あそぶことがない 校庭開放員がいない	
80	教育	中高一貫校がない	
81	教育	大学がない 学生がいない	
82	教育	いい中等教育 高騰教室 中学・高校 がない	
83	教育	学校（小中）ごとに特別テーマを設ける	
84	教育	学校を統合してほしい	
85	教育	教育格差（ひとり親の子のフォロー等）	
86	教育	（内申制があることが障害）中高一貫がない	
87	教育	先生が忙しすぎる	
88	教育	教師（先生）の残業・部活指導の負担軽減を！！（有給取得のしやすさ）	
89	教育	教材が足りない	
90	ハード	トイレがきたない（暗い・怖い）	
91	ハード	校舎が古い	
92	ハード	車が置けない小学校があるけど、小さい子連れにはきつい	
93	ハード	屋内プールがない	
94	ハード	温水プールで集約化	
95	ハード	幼稚園に給食室をつくってほしい	
96	ハード	小学校がボロい プールが毎年こわれる	
97	ハード	運動会のテント問題	
98	食	食育の取り組みを進める	
99	食	地域食材を使った給食メニュー	
100	食	給食を豪華に	
101	保育資源	学童が閉まるのが早い	
102	保育資源	ランダム放課後子ども教室の改善	
103	保育資源	ランダム下校の改善	
104	保育資源	レスパイト一時保育がない	
105	保育資源	送迎ステーションがほしい	
106	保育資源	駅前に保育園がない	
107	保育資源	保育園より認定こども園をめざそう	
108	保育資源	ファミサポ、AsMamaの活用を！	

教育  
子育て

109	保育資源	ファミリーサポートが減っている	
110	保育資源	ネウボラが役に立たない	
111	保育資源	母子手帳一か所配布廃止！	
112	保育資源	県西部にベビーシッターが来にくいのに行政が理解してない	
113	保育資源	保育士の確保(福祉職の給与改善)	
114	保育資源	保育士が働きにくい環境	
115	保育資源	スクールカウンセラーの増員と質の向上	
116	保育資源	児相印象を良くしよう！！	
117	子育てサポート	子育て中は子育てに専念すべし理論！でも助からない！	
118	子育てサポート	子育て世代への理解がない(うるさい、汚す等)	
119	子育てサポート	おかあさんが何でもするべきと言われるけど、おとうさんががんばってるのにかわいそう	
120	情報	分かりやすいホームページを作成	
121	情報	子育ての情報が無い	
122	情報	民間サービス紹介	
123	情報	保育がとどきたい人とどいていない	
124			市民力飽きた
125	ハード		市民力にポイント制度導入
126	ハード		場内高校の復活
127	ハード		児童館の建設
128	ハード		子どもが遊べる公園を整備
129	ハード		コミュニティカレッジを作りたい(関東学院の跡)
130	ハード		多機能の小学校 ・コミュニティスペース ・コンビニ、支所 ・図書室
131	ハード		既存の施設を活用(誰でも活用できるように！)
132	教育方針		・郷土の環境特性を学ぶ ・歴史を学ぶ ・偉人を学ぶことで郷土愛を育む教育を
133	子育て環境		小さい子の一時保育やサポートに補助してあげる住みやすい街に！！
134	子育て環境		送迎保育ステーション
135	食事		給食の充実
136	食事		子供食堂の常設
137			例外のくらしをみとめてあげてほしい
138			役人が めんつが かわらなくて 価値観が変化しなくてこわい
139			役人は半年よその役所に研修
140			外の世界を勉強しよう！
141			行政・役人の資質の向上を希望
142			インバウンド 市長になる人は よその土地からきて 2人、3人と育てられる土地になるために考える！

Eグループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	市立病院と 地域医療	市立病院の現状が不明である。(評判等)	
2		市立病院が拠点病院なので質がどうか	
3		医療の住み分け必要！！	
4		予防医療の充実強化 特定健康診断等の充実等	
5		ドクターヘリコプター離発場の確保 設定する！！	
6		新病院の規模・時期・予算・内容等について市民に明確なビジョンが示されていないので不安	
7			市の広報で情報発信を
8		先生の数が不足しているのではないか	
9		人材確保	
10			マンパワー 優秀な医師の確保 地元出身者の優遇
11		医療スタッフの確保→通勤圏の問題	
12		通院(勤)手段等の確保 バス降車場の確保(敷地内)	
13		診療時間 待ち時間が長い	
14			診療時間インターネット予約
15		交通渋滞	
16			交通の問題 巡回バス
17		現地建て替えでは費用が倍近くなるのではないか	
18			JT跡地にもっていった方が良い
19		現地建て替えに伴う入院患者等への対応	
20		県営住宅活用できないか	
21		病床のスペース(現状の倍必要?)大丈夫か	
22		小児の無償化のビジョン	
23		診察内容が各病院で共有化されてスムーズな治療が出来ると良い 例)カルテの共有化	

24	教育 子育て	先生がもっと勉強する 精神的・時間的	
25			先生 時間的・精神的・給与的 余裕を
26			先生の労働環境の改善
27		小学校を統合(廃校)とせず地域のコミュニティーの拠点として整備する！！	
28			学校 広域避難所としての機能のみならず地区公民館機能や高齢者も利用できる施設とする(パークゴルフ・グランドゴルフ等も可能) ・小田原独自の発想
29		学校 将来的な統合	
30			地域に根差した学校を 統合せず残すべき
31			地域で子供を育てる
32			各世代一緒に活動→地域を拠点に(例えば学校)
33		学校と地域と情報共有したら良いのではないか	
34			各イベントを通じて学校と地域と情報共有
35			学校を地域の連絡の拠点、核として確立する
36			学校に地域の歴史を展示する
37		優秀な人材が圏外行ってしまう	
38		優秀な児童の確保	
39			私立中学の誘致
40		みんな塾に行く	
41			学校を拠点に一流のスポーツ選手や音楽家の授業を
42		塾との統合	
43		小田原で子供を産んで育てたい人を増やす	
44			補助金を出す
45		子育て支援金(医療)の充実	
46		不妊治療に対する助成強化	
47			行政が不妊治療の助成をする
48		子供を産める環境づくり 少子化	
49		少子化の為3人以上の子供に補助金を出す	
50		放課後児童クラブをもっと充実してもらいたい	
51		学童保育の拡充 制度？	
52			地域の人が教える等、児童クラブの内容充実
53		親の(課外)参画をどう体系化していくか	
54			親の参画のルールづくりを



Fグループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	市立病院	専門性をどう打ち出すか？	優秀な事務長
2		医療と介護のハイブリッド施設	
3		住宅型施設を併設	
4		病院建設の設計コンセプトをまとめる人がいない	
5		プランニングは専門家なのか不明？	
6		医師不足	市立病院の独立
7		居宅と医療施設のコラボ	
8		病院へのアクセス	
9		現地建替えは非経済	
10	子育て・教育	学校教育→塾へ	複数の先生による教育
11		学校の役割を明確に	地域性を活かす
12		地域ごとのマインドの差 →まとまらない「部落」	子ども食堂を増やす
13		親の指導	
14		親のあり方 団体スポーツなのに、自分の子どものことだけ	
15		格差社会	

Gグループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	市立病院	現在の病院を運営しながら、建替えを同じ敷地で行う →無理がある？余計なコストがかかる	小田原の中で医療を
2		少年院用地の北側の入口を開けて、何とかならないか？	
3		理想の病院像は？	
4		チーム医療があり、たらい回しにされない	
5		高齢者増加、慢性期増加に対応するためには？	
6		地域医療とは、入院して治療することなのか？	
7		新幹線ビルの透析クリニックの路駐。駐車場の設置が必要。	
8		→交通渋滞によって患者さんと地域にも問題になっている	
9		市立病院・足柄上病院以外の病院同士の連携	
10		低血糖症のスタッフがいるが、糖尿病の専門医が少なくて困っている	ICT
11		風祭の国立箱根病院を市や民間で再利用できないか？	
12	教育	食育 → 体験・安心安全・料理	体験
13		ケア児の受け入れ(学校)	ケア児が安心してらせる地域
14		小田原の郷土・道徳を学ぶ 地域のシルバー人材の生きる知恵を伝える	高齢者と子どもの 放課後ふれあい教室
15		英語教育のために、新幹線で市外の学校に通わせる。市内に魅力的な学校があれば市外にいかない？	インターナショナル的な学校を入れる
16		生活困窮世帯の子どもの教育支援	小田原短期大学、医療福祉大学の学生やボランティアの活用
17	子育て	虐待問題 → 児童相談所に一時保護所がない	一時保護所、一時預り
18		養育不安 孤育て母への支援	ファミリーサポート事業 子ども食堂
19		地域で見守り	子ども110番
20		いじめ メンタル 課題	常勤のスクールソーシャルワーカーSSW 地域で育てる見守り

Hグループ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	市立病院	診断結果が出るまでの時間が長い	業務改善
2		食堂の場所が悪い	上の階に作るべき
3		早い建替えの実現	
4	地域医療	終末期医療の専門病院がない	やがて迎える死、家族と患者が生活の質(クオリティーオブライフ)を下げず時間を過ごせる病院を作る
5		専門分野の充実	
6		医師不足	
7		産婦人科不足	人材を増やす努力をする
8		看護師不足	看護師の仕事が大変。待遇を良くする
9		足柄上病院との連携	
10		医師が減っていくだけで良いのか？対応策はあるのか？	
11		大学病院との連携、誘致	県と交流しながら新しい技術や知識を得る
12		子育て	子ども食堂
13	人材バンク		
14	小田原地域特有の子育てや教育		北海道にスキーの教育があるように、自然を活かした教育をすべき(情操教育)
15	教育	教育の重労働	
16		教員不足 サポート教員補充	教育人材の確保 スタディサポートの実施
17			教育の時間が不足している。ゆとり教育の見直し
18		道徳を増やしてほしい	道徳が少ないので、いじめや犯罪がふえるのでは？
19		心のサポート 多様な家庭環境	心の専門スタッフを育てて配置する
20		ゆとり教育	
21		外国語教育	生きた英会話を話せる職員を配置
22		情報(ネット・SNS)などの知識	
23		型にはめない！！	義務教育の見直し
24		教育レベルの(教員レベル)の一定化	先生のレベルの一定化。指針を作る
25		セクハラ、モラハラの基準線は、誰が決めるのか？	マニュアルや資料を作成する
26		教育委員会の見直し	親も子どもも時間がない競争社会なので、マニュアルを作るべき。競争社会は先生が見捨ててしまう。
27		平等な教育施設「差別あり？」	先生の負担・リスクが大きすぎる
28			小田原市が先生専門の相談室を作る
29			教育施設の差を埋める(汚い施設がかなりある)